



安全安心だより No.7

～登下校の子どもの安全をみんなで守ろう(小学校の交通事故の現状)～

松山市の小学生、交通事故防止に関する情報をお知らせします。

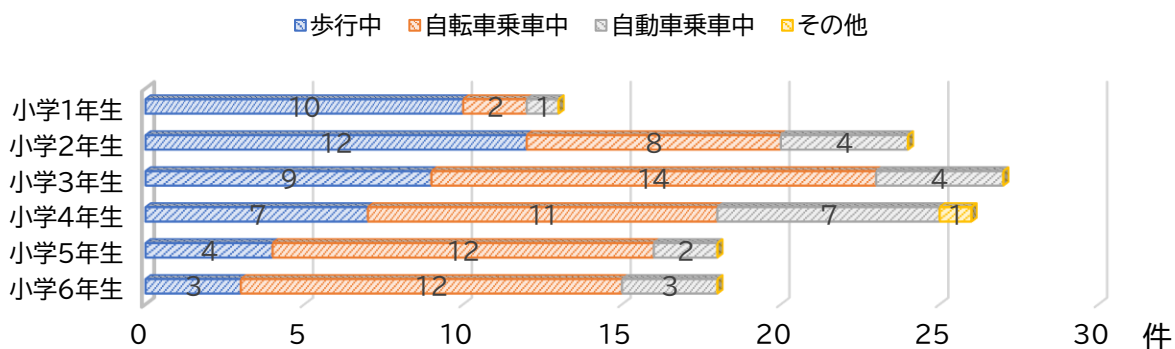
なお、愛媛県警察本部のHPに「交通事故統計」が掲載されておりますので、ご参照ください。

[愛媛県警察ホームページ](#)⇒各部門⇒交通部⇒交通企画課⇒交通事故統計

松山市の令和元年から令和5年まで、5年間の小学生の交通事故の統計を分析しました。

(以下の件数・人数は、いずれも5年間の累計件数・人数です。)

1 学年別・状態別死傷者数（小学生）（愛媛県警察本部ホームページ参照）

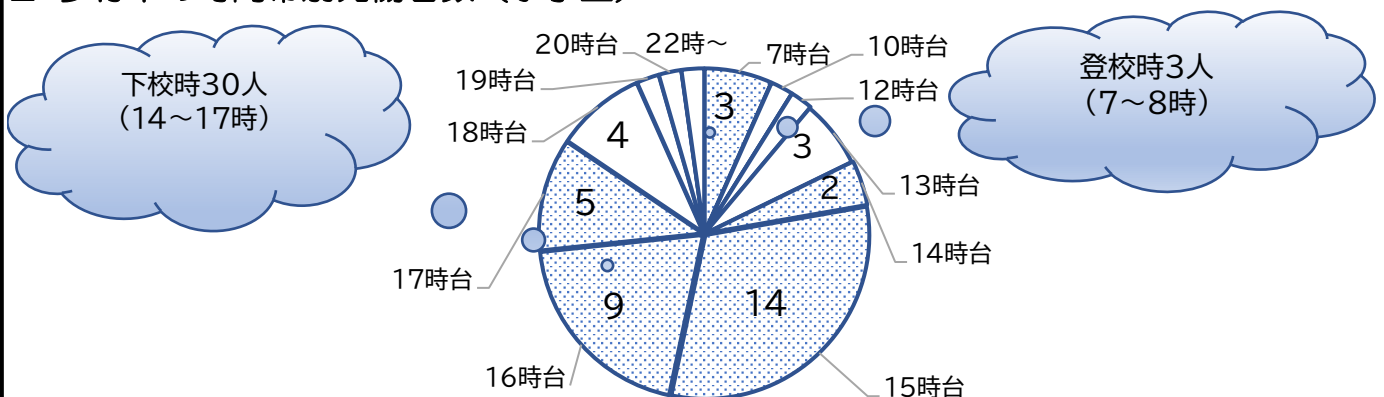


○低学年（小学1～3年）は歩行中の事故が多くなっています。

○自転車乗車中の事故は、小学2年生で急増し、小学6年生まで高水準で推移しています。

○なお、死傷者の総数は小学3年生が最も多いです。

2 歩行中の時間帯別死傷者数（小学生）

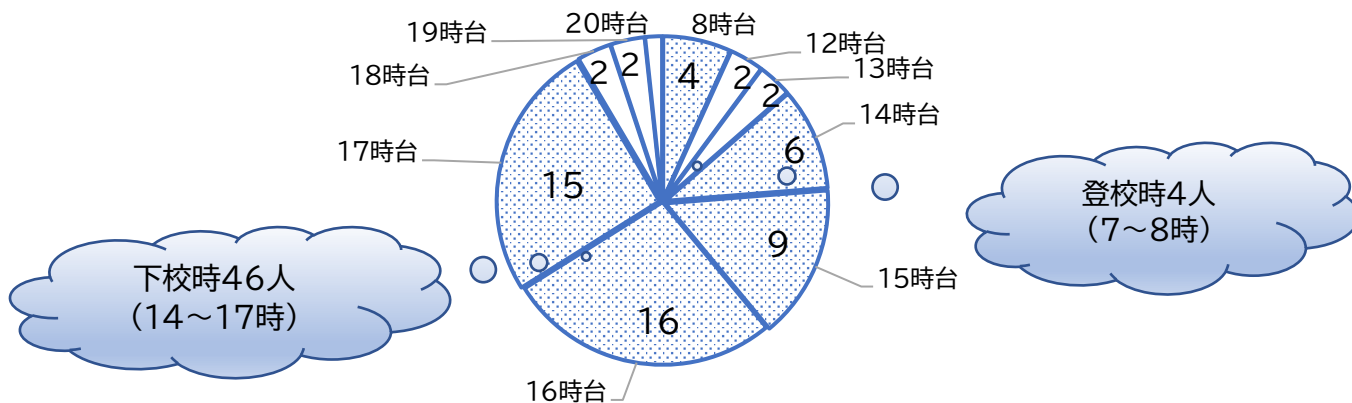


○登下校時の時間帯を合わせた死傷者数が全体の約7割を占めています。

○登校時間帯(7時～8時台)は3人、下校時間帯(14時～17時台)は30人で10倍になっています。

以上の状況から下校時間帯の見守り活動が必要になっています。

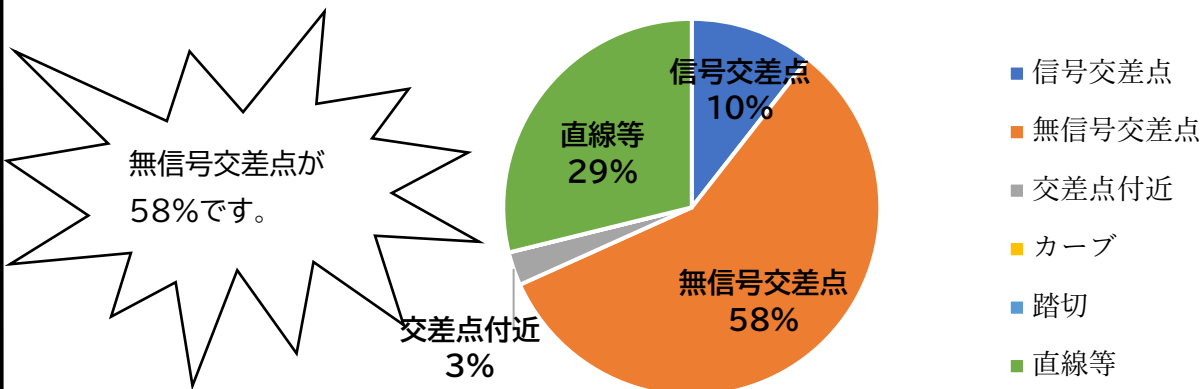
3 自転車乗車中の時間別死傷者数（小学生）



○14時～17時台の死傷者が46人と全体の約7割強を占めています。

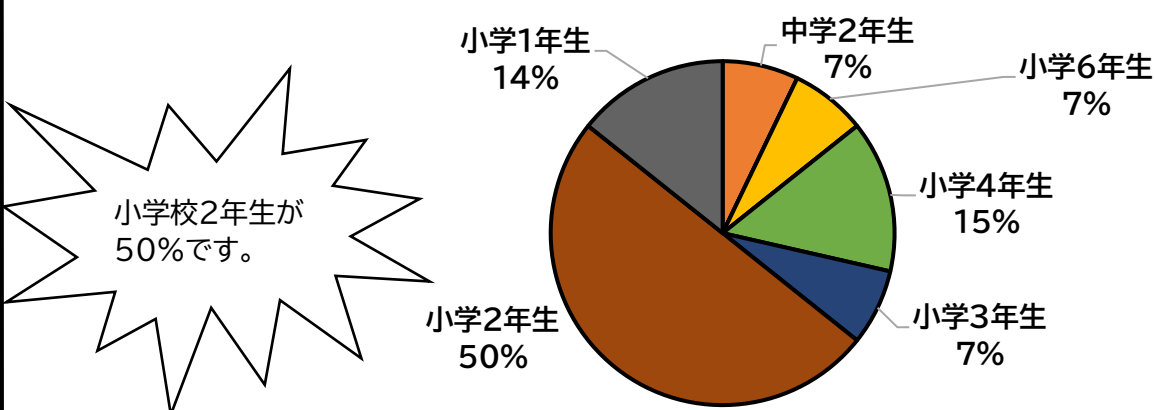
○帰宅後の外出時に事故に遭遇したと考えられます。

4 道路形状別事故発生状況（小学校）



○無信号交差点における事故は58%で事故発生状況の過半数以上を占めています。

5 直前・直後横断による子どもの死傷者数



○小学生は、低学年（小学1年～小学3年）の死傷者が多く、中でも小学2年生の事故が50%を占めています。

～「子ども安全安心対策推進事業」に関するお問い合わせ等は～

教育支援センター事務所

電話：089-943-3205 まで